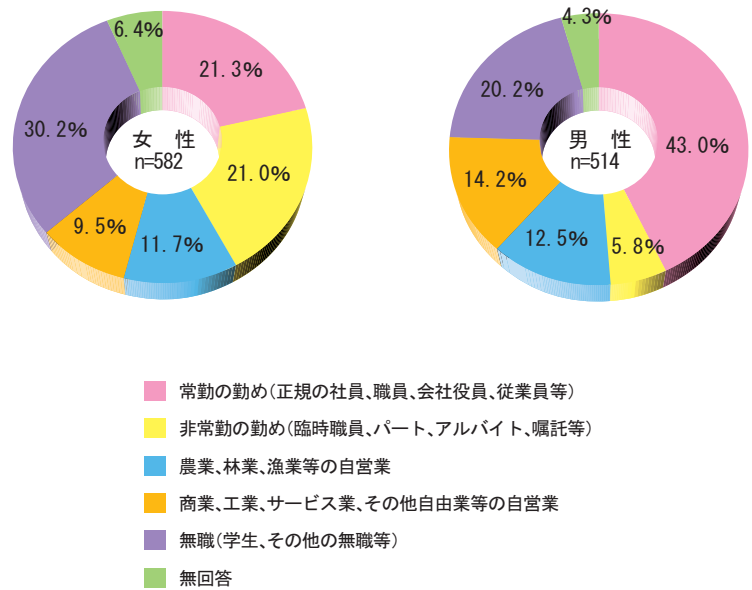


4 就業に関する意識

女性約6割、男性約8割が就業中

今回の調査では、女性の21.3%が「常勤の勤め」でした。男性では43.0%ですので、21.7ポイントの開きがあることになります。また、「自営業」までを合計すると、就業している人の割合は、女性では63.5%、男性では75.5%となります。

就業状況



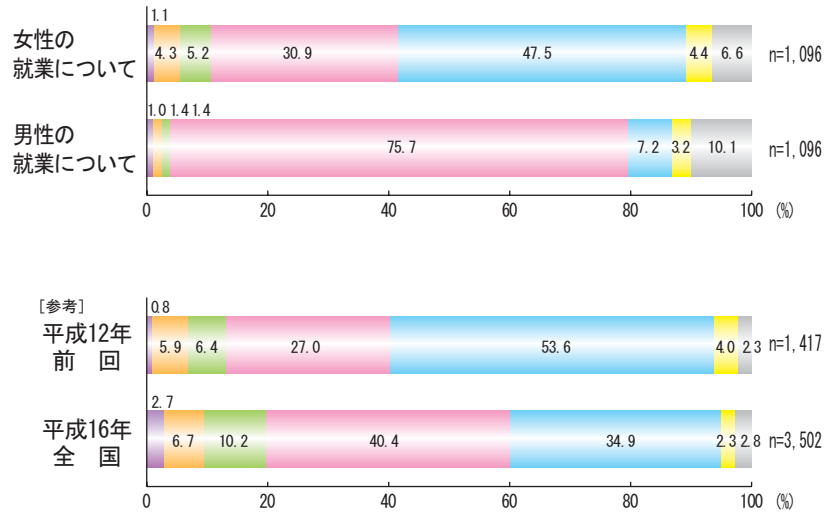
働き方の理想として支持が高いのは、女性は「中断再就職型」、男性は「職業継続型」

女性の働き方として、47.5%の人が「中断再就職型(子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい)」を支持しています。

全国値と比べても、「中断再就職型」を望む割合が高いことがわかります。

一方、男性の働き方としては、75.7%の人が「職業継続型(子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい)」を支持しており、男女それぞれについての意識の差がはっきりと現れています。

就業についての意識



注) 前回データ、全国データとも女性の就業について調査したものと

- 仕事をもたない方がよい <生涯専業主婦(主夫)型>
- 結婚するまでは、仕事をもつ方がよい <結婚退職型>
- 子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい <出産(出生)退職型>
- 子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい <職業継続型>
- 子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい <中断再就職型>
- その他
- 無回答

※ 前回データ: 男女共同参画社会づくりのための県民意識調査(平成12年9月 宮崎県)
 ※ 全国データ: 男女共同参画社会に関する世論調査(平成16年10~11月 内閣府)
 注) 全国データの「わからない」を「無回答」とみなして表示